

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	呉市立仁方中学校	校長氏名	御堂岡 健	生徒指導主事氏名	釜山 郁美
-----	----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『一部活一貢献から一人一貢献へ』

取組のねらい 『キーワード：自己有用感の醸成』

生徒一人一人が自信と誇りをもち、自分も地域や社会の役に立つ人間であることを自覚して、自己有用感をもてるようにするため、生徒会活動の中に「貢献活動」を位置付け、自主的、実践的な態度を育てる。

取組の具体的内容 『キーワード：貢献』

生徒会活動の一環として位置づけ、生徒会担当教諭の指導の下、執行部が提案し、活動する。

【一部活一貢献の取組】

- ①部長会で、趣旨と内容について連絡する。
- ②各部で活動の内容について話し合う。
- ③各部で、継続して定期的実施する。

※各部活の取組内容

- [陸上部] 公園の草抜きとゴミ拾い (月 1 回)
- [ソフトテニス部] 駅周辺の掃除 (週 1 回)
- [野球部 ソフトボール部] グランドの草抜き (週 1 回)
- [サッカー部] 先生から依頼のあった内容
- [バスケットボール部 剣道部] 体育館の掃除 (週 1 回)
- [吹奏楽部] 教室・トイレ等の掃除 (土曜日)
- [図書部] 石庭周辺の草抜き (週 1 回)
- [仁方KFB] 花壇の整備, トイレに花を飾る。



ソフトテニス部による掃除



取組をまとめた掲示物



仁方KFBによる花壇整備



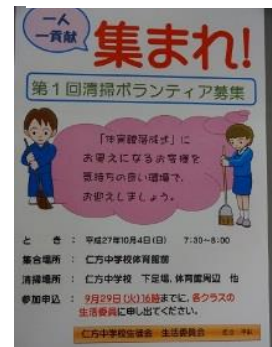
野球部による草抜き

【一人一貢献の取組】

- ①「一人でもできる」ことを目標に、ボランティア活動を企画
- ②代議員会を通じて各学級に連絡
- ③ポスター掲示でボランティアの募集
- ④清掃ボランティアに参加

※具体的な取組内容

- 第 1 回 10月4日(日) 7:30~8:00 (体育館落成式の朝)
 - [掃除場所] 体育館のエントランスやトイレ, 下足場, 廊下, 正門付近等
 - [参加人数] 39名
- 第 2 回 12月13日(日) 8:00~11:30 (トイレ掃除ボランティア時)
 - [掃除内容] 「日掃除に学ぶ会」の皆さんと共に、一人1つの便器を受け持ち磨く。
 - [参加人数] 61名 (日曜日にもかかわらず、全校生徒の3分の1以上が参加)
- 第 3 回 1月13日(水) 7:30~8:00 (教育長来校時の朝)
 - [掃除場所] 下足場, 廊下, 階段, 来賓用トイレ, 正門付近等
 - [参加人数] 27名



募集ポスター



清掃ボランティア



トイレ掃除ボランティア



取組の課題・創意工夫『キーワード：ボランティア精神』

- ア 「一部活一貢献」は部活単位で実施するため、部活動に所属している生徒は必然的に活動に参加することとなるため、生徒の自主性・自発性を尊重するために、「一人一貢献」へとステップアップさせていった。
- イ 上級生ほど参加人数が多く、これまで3回とも、1年生の参加者数が上級生に比べて少なかった。道徳の時間の学習とも関連づけながら、参加を促していきたい。
- ウ これまで、教員側からの発案を受け、生徒会が動くという形で取り組んできた。清掃活動以外にも何かできないか、学校外（小学校や地域で）でも、できることはないか等、広く生徒からの意見を取り入れることにより、より主体性のある取組にしていきたい。

取組の成果（効果）『キーワード：評価』

- ボランティアは、本来、評価や見返りを求めるものではないかもしれないが、褒められ、認められることにより「自分が役に立った」と感じ、自己有用感につながっていくと考える。
- ア 「一人一貢献」は、自分から手を挙げて参加するため、参加した全ての生徒が、ひたむきに一生懸命に活動した。学校長は、学校朝会でその様子を讃え、学校だよりや生徒指導だより、ホームページでも、その都度紹介した。
- イ 「呉掃除に学ぶ会」の代表者の方は、閉会式で「これまで161回実施したが、今日のみなさんは、3本の指に入るくらい一生懸命、そして気持ちよく最後まで取り組んでくれました。」と褒めて下さった。
- ウ 来校した方も、早朝の清掃ボランティアに対してお礼を述べられ、それを生徒に伝えた。

今後の展開『キーワード：地域へ』

現在、地域とのつながりという点では、地域行事への参加の他、月1回の仁方駅での小中合同あいさつ運動を行っている。今後は、まちづくりセンターや各団体とも連携しながら、中学生ができる貢献活動を設定して参加を募り、「自己有用感の醸成」とともに「地域の一員としての自覚」を育てていきたい。



あいさつ運動

他校へのアドバイス『キーワード：生徒会活動の活性化』

勉強に部活動にと生徒は忙しい。しかしながら本校では、各クラスにおいて、委員に立候補する生徒が多い上に、生徒会役員にはここ数年、6名の定員に対して十数名の立候補がある。各委員会は、当番活動と学期に1回の委員会独自の取組の他、行事においては分担して仕事を受け持っている。生徒会執行部は、行事等において、ともに働く同級生と一緒に様々な経験を積んで力をつけており、下級生は上級生のそんな姿に憧れ、お手本となる上級生に目指す自分を重ねる。

生徒会活動は、自主性や責任感を育て達成感を味わうことができるため、部活動と同様に「積極的生徒指導」の場であると捉えながら取組を充実させていくことがポイントである。



登校時の選挙運動